

# 令和元年度学校評価報告書

令和2年 2月 28日

渋谷区立笹塚小学校

## 1 学校の教育目標

法に定める学校教育の目標およびまた東京都ならびに渋谷区教育委員会の教育目標をうけ、児童一人一人が自分の個性を伸ばし、変化の激しい未来を生き抜く先進的で柔軟な考えを育むことを目指す。

- 互いの違いを認め 高め合う子
- ◎ 主体的に学び 創造する子
- 心身をきたえ たくましい子

## 2 本年度の重点目標

今年度は「主体的に学び 創造する子」を重点目標とし、国語科を本校の学習の柱として、基礎・基本の定着を図り、「主体的・対話的で深い学び」を通して、思考力、判断力、表現力等を育み、学びに向かう力、人間性等を養う教育を推進し、一人一人の児童の生きる力の向上を図る。

## 3 自己評価結果と学校関係者評価の状況

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価	改善策
学校の様子	学校は、子供たちが明るく、楽しく生活する雰囲気になっていますか。	3	できる、分かるようになる授業を目指して、すべての教員が授業改善に取り組む。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	学校の雰囲気はよく、児童も楽しそうにしている様子である。肯定的な回答をしなかった児童や保護者の声にもしっかりと耳を傾け、よりよい学校づくりを目指すよう期待する。			
	学校関係者評価を受けての変更点等				
教育活動と子供の様子	笹塚小学校の教育活動に満足していますか。	3	PTA、学校運営協議会を通じて、保護者や地域の声を汲み取る仕組みづくりを行う。	A	A
	学校は、分かりやすい授業の実施に努めていますか。	3	校内研究を活性化させるとともに、授業充実プランを活用してPDCAサイクルの充実を図る。	A	A
	学校は、思いやりをはぐくむ心の教育をすすめていますか。	4	しっかり考えさせる道徳の授業づくりや評価の工夫、特別活動におけるかかわりの工夫を行う。	A	A
	学校は、いじめの未然防止、早期発見に向けて取り組んでいますか。	2	学校での取組内容について情報発信するとともに、ともに見守ることを呼びかけていく。	A	A
	学校は、一人一人の個性を伸ばす教育活動をしていますか。	2	習熟度別授業の充実を図るとともに、特別支援教育（インクルーシブ教育）を推進する。	A	A
	学校は、学力向上に向けた取組をしていますか。	3	タブレットの活用も含めた基礎の定着、思考を広げ深める授業づくりを核に、学力の向上を図る。	A	A
	学校は、タブレット等のICT機器を活用していますか。	2	笹塚中学校とも連携し、ICT機器のより効果的な活用、及びプログラミング教育の推進を図る。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	児童の理解度を確かめながら授業を展開するよう工夫されている。ICTの利活用や個別対応を誠実に進めてほしい。新学習指導要領実施に向け、より一層の充実を期待する。			
学校関係者評価を受けての変更点等	心の教育の項目は、評価委員からの「保護者の肯定感も高く、児童の意識も高い」という意見を受け、自己評価を「3」→「4」に変更した。				

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価	改善策
教職員	教職員は、子供たちのことをよく理解しようとしていますか。	3	学年会や生活指導夕会における情報共有をさらに徹底し、特別支援に関する研修も充実させる。	A	A
	教職員は、誠意をもって相談に応じていますか。	4	保護者や地域からの声には、「組織で」「スピード感をもって」対応にあたるよう、心がける。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	日々の授業のほか、運動会や学芸会等の学校行事の際も、常に児童の実態をよく理解して指導がなされている。組織での学校運営が円滑に行われていると感じる。			
	学校関係者評価を受けての変更点等	誠意をもって相談については、評価委員からの「個別には難しい案件もあると思うが、総じて良好な関係が築けている」という意見を受け、自己評価を「3」→「4」に変更した。			
教育環境整備	学校は、子供たちの安全に対する配慮をしていますか。	4	生活指導部を中心に教職員の意識を高め、すべてに安全を優先させる教育活動を徹底する。	A	A
	学校には、教育に必要な施設・設備が整っていますか。	3	限られた予算を効果的に活用するため、優先順位をCSやPTAとも共有し、計画的な執行を図る。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	登下校の見守り等地域との連携も有効に行われている。さらに安全指導を充実させ、高学年ではネットの安全利用について指導を。施設については、優先順位を共有できるとよい。			
	学校関係者評価を受けての変更点等	安全に対する配慮については、評価委員からの「現状においては、十分達成しているとみて差し支えない」という意見を受け、自己評価を「3」→「4」に変更した。			
家庭・地域との連携	学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていますか。	3	学校ホームページの充実を図るとともに学校だより等の内容を工夫し、積極的に情報発信する。	A	A
	学校は、保護者や地域の願いにこたえようとしていますか。	3	PTA、学校運営協議会を通じて、保護者や地域の思いや願いを受け止め、教育活動に生かしていく。	A	A
	学校は、地域との連携に努め、教育活動を充実させようとしていますか。	3	学校運営協議会を核として、地域の方々と教員とをつなげるための取組を工夫していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	地域との連携はよく図られているが、地域の特性を学校教育にどう活かしていくか、既存の事例も含め検討し、さらに笹塚小学校ならではの特色ある教育活動の充実を期待したい。			
	学校関係者評価を受けての変更点等				

#### 4 令和元年度学校評価のまとめ

学校関係者評価では、「概ね満足できる教育活動が実践され、かつ適正な自己評価がなされている」という意見が大半であった。一方で、学校が十分に楽しいと感じられていない児童の割合が思いのほか高かったことについては、教職員と評価委員とで、今後の大きな課題であるという認識を共有した。児童アンケートの「授業が分かりやすい」という項目や「ICTの活用が思考の広がりや深まりにつながっている」という項目の数値が今後さらに高くなっていくよう、授業改善に努める必要がある。また、学校の取組について、もっと積極的に保護者や地域に情報を発信していく必要があるという意見も複数の委員から出され、次年度、改善を図る重点項目の一つとしたい。

以上のとおり相違ありません

学校長 荒木 憲 秀 印

学校関係者評価委員長 橋本 健一 印